



飛鶴の森林から

当ふれあいセンターは、国有林をフィールドとして北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り組む NPO 等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。

「緑の少年団退団記念品（マイ箸）づくり」支援

3月3日（木）釧路総合振興局からの依頼により、釧路市立阿寒湖畔小学校「阿寒湖グリーンクラブ少年団」の退団記念品（マイ箸）づくりの支援を行いました。

阿寒湖グリーンクラブ少年団を退団する6年生11名と先生2名及び教頭先生が加わり、当センターの指導を受け「マイ箸づくり」を行いました。



一生懸命削って

何事にも一生懸命に

完成したマイ箸を持って



「石狩地域森林環境保全ふれあいセンター」職員が視察に・・・

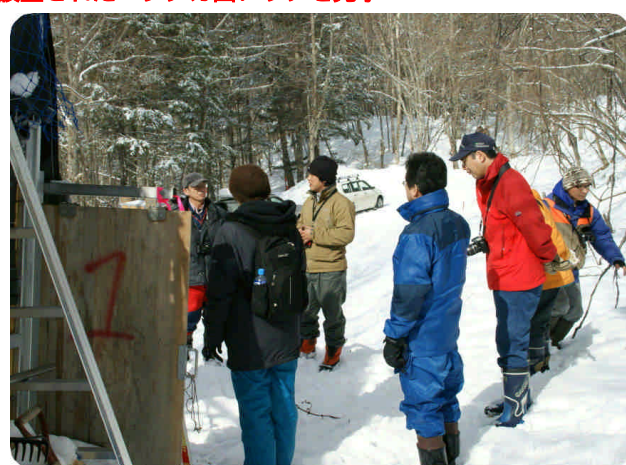
3月2日（水）石狩地域森林環境保全ふれあいセンター（所在地：札幌市）の職員4名が当センターを視察に訪れました。

昨年度に引き続きエゾシカの捕獲を実施している白糠国有林の囲いワナを見学し、今年度捕獲作業を請け負ったNPO法人エンビジョンの担当者より、

いワナの構造や今季の捕獲状況等の説明を受けました。石狩センターの志鎌所長からは「囲いワナや設置された観測機器類、ワナに接したエゾシカの習性など大変勉強になった」との感想がありました。

この後、釧路湿原自然再生協議会に係る森林再生事業地を見学しました。

根釧西部森林管理署白糠国有林 1064 林班に設置されたエゾシカ囲いワナを見学



森林環境教育支援のお知らせ!

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

当センターでは、平成23年度も森林環境教育に係わる支援の取組を行います。23年度、環境学習の取り入れをお考えいただく参考になればと思い、支援の内容の一部を紹介いたします。支援内容は、50分間程度を1単元として、2単元、3単元の組み合わせで実施いたします。

1単元の場合

森林の働きを、パネル又はスライドにより学習します。

2単元の場合

1単元で学習したあと、校庭などの樹木を使用し樹木の名前や特徴を学習します。

3単元の場合

1・2単元に加え、屋外で校庭の樹木の太さや高さを測り、炭素貯蔵量の算出方法を学習します。



「森林の働き」のパネル学習



葉の形をデジカメに記録して樹木の名前や特徴を学習



木の葉を観察して特徴を学習



樹木の太さや高さを測定



葉を紙の下に置いて擦りだして記録

その他

「飾り炭づくり」や「学校菜園での苗木栽培」などの体験学習も用意しています。



飾り炭づくり
(火吹き竹を使って火起こし)

クリ・クルミが炭に・・・



カミネツコンによる苗木の育成

23年度も是非、環境学習の取り入れをお考えいただき、当センターをご利用・ご活用下さい。なお、経費等は一切かかりませんので、お気軽にふれあいセンターまでご相談下さい。

(電話 0154-44-0533 担当:舟橋)

お知らせ

平成23年4月1日付け人事異動により、森林環境教育担当者が変わりました。
旧担当者 國井(クニイ) → 新担当者 舟橋(ふなはし)



2011・国際森林年

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター
〒085-0825 釧路市千歳町6-11
TEL 0154-44-0533 FAX 0154-41-7305
URL http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html
E-mail h_kusiro_f@rinya.maff.go.jp